

社会福祉法人 健誠会

令和 2 年度 事業報告

令和 3 年 6 月

1. 法人の概要

(1) 名 称 社会福祉法人 健誠会

(2) 事務所の所在地 茨城県つくば市大曾根 3690

(3) 設立認可年月日 平成 13 年 10 月 16 日

(4) 事業の概要

○ 第一種社会福祉事業

- ・特別養護老人ホームの経営
- ・障害者支援施設の経営

○ 第二種社会福祉事業

- ・老人デイサービス事業の経営
- ・老人短期入所事業の経営
- ・障害福祉サービス事業の経営
- ・一般相談支援事業の経営
- ・特定相談支援事業の経営
- ・障害児相談支援事業の経営

(5) 役員・評議員（令和 3 年 3 月 31 日現在）

【理事長】 市原万里子

【理 事】 細田市郎 大沼勝美 川村晴一 稲葉一行 大島茂則

【監 事】 馬場清康 森田里美

【評議員】 林浩一郎 鈴木富士雄 松宮洋子 久野まち 柿沼宜夫

藤田萬豊 塚本洋二

(6) 理事会・評議員会の開催状況

理事会の開催状況

開催年月日 (通知年月日)	議案名
2020.6.8 (2020.6.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度決算 ・令和元年度事業報告 ・永福南（特養） 利用料（食事代、居住費）の変更について ・つくば総合福祉センター一日中一時預かりサービス運営規程の変更について ・役員等報酬並びに費用弁償に関する規程の変更について ・定時評議員会決議の省略、議案の決定について
2020.8.7 (2020.8.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・港区立障害者支援ホーム南麻布施設長（管理者）の任免について ・理事退任による新理事候補について ・評議員会決議の省略、議案の決定について
2020.12.4 (2020.12.1)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度下期補正予算 ・評議員会決議の省略、議案の決定について
2021.3.15 (2021.3.8)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度補正予算 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度予算 ・シニアガーデン通所 運営規程の変更について ・六本木ヒルサイドホーム管理者の選任について ・シニアガーデンアネックス施設長の任免について ・特養シニアガーデンアリス施設長の任免について ・評議員会決議の省略、議案の決定について

評議員会の開催状況

開催年月日 (通知年月日)	議案名
2020.6.30 (2020.6.23)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度決算 ・永福南（特養） 利用料（食事代、居住費）の変更について ・つくば総合福祉センター一日中一時預かりサービス運営規程の変更について ・役員等報酬並びに費用弁償に関する規程の変更について
2020.8.18 (2020.8.12)	<ul style="list-style-type: none"> ・港区立障害者支援ホーム南麻布施設長（管理者）の任免について ・理事の選任について
2020.12.24 (2020.12.15)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度下期補正予算
2021.3.31 (2021.3.23)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度補正予算 ・令和3年度事業計画 ・令和3年度予算

(7) 施設・職員数・定員

令和3年3月31日現在

施設名	施設長・管理者	職員数	利用者定員
シニアガーデン	宮本直美	常勤 63名 非常勤 9名	50名(入所) 20名(短期入所) 40名(通所) 29名(別館入所)
シニアガーデンアネックス	岡田満博	常勤 41名 非常勤 6名	29名(入所) 20名(短期入所) 35名(通所)
居宅介護支援事業所 シニアガーデンアネックス	浅井太陽	常勤 6名 非常勤 0名	
つくば総合福祉センター	篠崎純一	常勤 34名 非常勤 17名	40名(入所生活介護) 20名(通所生活介護) 4名(短期入所)
一般・特定障害者(児)相談支援事業所サポートプラザつくば	篠崎純一	常勤 6名 非常勤 0名	
知的障害者グループホーム 六本木ヒルサイドホーム	藤田 陽	常勤 2名 非常勤 9名	10名(共同生活援助) 2名(短期入所)
特別養護老人ホーム 永福南社会福祉ガーデン	高槻暁男	常勤 32名 非常勤 11名	70名(入所) 10名(短期入所)
障害者支援施設 永福南社会福祉ガーデン	高槻暁男	常勤 14名 非常勤 9名	12名(生活介護)
特別養護老人ホーム 南麻布シニアガーデンアリス	上田文代	常勤 37名 非常勤 4名 派遣 8名	100名(入所) 10名(短期入所)
港区立障害者支援ホーム南麻布	大島茂則	常勤 46名 非常勤 7名	40名(入所支援) 40名(生活介護) 4名(短期入所)
港区立障害者支援ホーム南麻布 障害者(児)相談支援事業所	渡辺千尋	常勤 2名 非常勤 0名	

(8) 地域における公益的な取組

「地域の方と交流」事業

大曾根上構造改善センターを主な会場として、地域の高齢者を対象に、無料で体操・介護相談・折り紙・クイズ等の活動を実施。

実施日	参加人数	主な活動内容
令和2年 4月21日	0名	コロナ感染防止のため中止
5月10日	0名	コロナ感染防止のため中止
6月7日	10名	リズム体操 ゲーム（ペットボトル in 割り箸） 介護相談
7月19日	16名	コロナ予防対策について 認知症について 認知症予防体操 数字ゲーム 介護相談
10月11日	15名	全身体操（タオル体操） あんたがたどこさ お金持ちゲーム 介護相談
11月22日	15名	ラジオ体操 ゲーム 介護相談
12月20日	15名	歌（お座敷小唄） アロママッサージ（手） 指体操 脳トレ 介護相談
令和3年 3月14日	0名	コロナ感染防止のため中止

2. 施設・事業所別事業報告

令和元年度事業報告（施設名 シニアガーデン・別館）

事業所名	定員	稼働率
特別養護老人ホーム シニアガーデン	50名	92.6%
短期入所生活介護事業所 シニアガーデン	20名	94.6%
通所介護事業所 シニアガーデン	40名	77.3%
地域密着型小規模特別養護老人ホーム シニアガーデン別館	29名	94.7%

事業の概要

<特別養護老人ホーム（入所）>

利用者の入院数が月平均 3.5 人、最大 8 名と入院者が減少しない状況です。空床期間もあり稼働率が下がっています。看取りの方や同じ利用者の肺炎での入退院が多くなっています。肺炎・尿路感染予防のケアの見直しや体調の変化に素早く対応できる様多職種で取り組んで参ります。

<短期入所（ショートステイ）>

20床のうち18床のロングショートを維持しています。2床の単発は定期的な利用で満床になる状況です。ロング利用者が入院すると空床の調整が難しい状況です。入院期間等病院と連携し単発の受け入れを調整していきます。緊急の受け入れも引き続き積極的に行い、今後も地域のニーズに応えて行きます。

<通所介護（デイサービス）>

稼働率は前年度 69.1%より 8.2%上がっています。利用している方の増回や新規の方の利用回数が多いため稼働が上がっています。新規利用者の獲得は上半期 16 件で目標 20 件には達しませんでした。入院している方や、ショート利用への変動もあるため、今後も営業活動で PR し、新規獲得していきます。

<地域密着型小規模特別養護老人ホーム>

体調が不安定な方が多く、施設で治療をしている方、看取りの方は常にいる状況です。入院される方もあり稼働率は低下しています。入退所は 3 名と前期より少なくなっていますが、待機者は少ない状況です。空床期間が長期にならないよう、入居者の状態を把握し、待機者の確保と受け入れの準備を事前に行えるようにしていきます。営業活動も引き続き行い別館の PR をしいきます。

令和元年度事業報告（施設名 シニアガーデンアネックス）

事業所名	定員	稼働率
地域密着型特別養護老人ホーム	29名	99.6%
短期入所生活介護	20名	89.5%
通所介護	35名	78%

事業の概要

<地域密着型特別養護老人ホーム>年間稼働率前年比+6.1%

H30年度は通年で入院者もなく、永眠退所後の入所移行での空床が数日発生したのみであったため、稼働が安定できました。入所待機者を施設内で複数維持できていたことは空床が短期間に限定できた理由と考えられます。介護・看護職員が増員となり、日々の観察が注意深くできるようになったことも背景として影響が大きいと思われます。今後もチームとして異常の早期発見・事故防止・満足度向上に取り組んでまいります。

<短期入所生活介護>年間稼働率前年比+9.4%

ロングの利用者確保に注力し継続して確保できしたことや、リピーターの利用日の調整により、入退所の煩雑さも解消傾向にあります。今後も積極的にPRを行い、待機者確保と短期利用の日程を隙間なく調整しさらに稼働向上を目指します。

<通所介護>年間稼働率前年比+16.3%

年間を通して稼働が徐々に増加できましたが、80%前後で停滞するようになりました。昨年度・一昨年度の稼働実績から、2月に定員数を変更し新たに中重度ケア体制加算の申請を致します。

<その他>

新型コロナウィルスの感染拡大防止につきましては、いちはら病院や茨城県老人福祉施設協議会などの指示のもと、つくば市などとも協議しながら対応しています。感染者の減少後も引き続き必要に応じた感染対策を継続しようと考えています。

令和元年度事業報告（施設名 アネックス居宅）

事業所名	定員	稼働率
居宅介護支援事業所 シニアガーデンアネックス	CM 6名	97%

事業の概要

ケアマネージャー6名で活動しました。主任ケアマネージャー研修1名終了し、主任ケアマネージャー4名体制となりました。

実績については、上半期稼働率98%、下半期稼働率96%となり、下半期は職員異動の可能性があったことから新規受け入れを控えていたため92%まで一時低下しましたが、その後積極的な新規の受け入れにより実績は令和元年3月時点で98%まで回復しました。

令和元年度の新規契約51名、契約終了者(施設入所、永眠等)29名となりました。

「連携」については、入院時の早期の情報提供や退院時カンファレンスの積極的な参加、適宜サービス担当者会議の開催などを行い、顔の見える連携を心掛け、今後の方針や意向、情報の共有に努めました。

「人材育成」については、毎月のつくば市CM連絡会や地域ケア会議、外部研修への積極的な参加と毎週居宅内の会議にて事例検討を行い、困難事例等を話し合うなど個々のスキルアップを図り、質の高いケアマネジメントの提供ができるよう努めました。

「健全な経営」については、適正な運営基準に従い、特定事業所加算Ⅱの算定要件を満たしました。また、目標稼働にほぼ達成している状況を踏まえて、各CMの担当人数や役割分担が偏らないよう仕事量を調整しながら新規受け入れを今後も行っていきます。

そして、コロナ対策ですが、3月より利用者宅への訪問の見合わせや職員の検温やアルコール消毒等の感染予防を徹底し感染拡大防止に努めました。また、デイサービス等の事業所の閉鎖があったため代替サービスの必要性を検討し、適切なサービスの再調整、必要なサービスの確保に努めました。

今後もコロナの状況を踏まえながら、必要なサービスの確保や家族の介護負担軽減のための支援と職員の感染予防対策をしっかりと行っています。

令和元年度事業報告（施設名 つくば総合福祉センター）

事業所名	定員	稼働率
つくば総合福祉センター 入所	40名	95%
つくば総合福祉センター 通所	20名	91%
つくば総合福祉センター 短期入所	4名	87.5%
つくば総合福祉センター 日中一時預かり	5名	88%

事業の概要

【入所】

利用者の高齢化による障害の重度化が進み、長期入院や永眠される方が増加しました。近隣病院や相談支援事業所との連絡を密に図ったことで、新規入所者をスムーズに行えたことで実績の低下を最小限にすることことができました。現状として、入所支援を希望される方の重度化も進んでおり、医療依存度が高い利用者の方が増えています。看護師の増員・支援員の喀痰吸引研修への参加を行い、地域ニーズに応えられる体制を構築していきます。

【通所】

相談支援事業所や特別支援学校からの利用相談に対して、タイムリーに対応したことで、新規利用者の獲得につながりました。感染症の流行期には利用を自粛する方が多く、実績が低下しましたが、収束傾向になると回復してきています。コロナウィルス等、感染症の影響を受けやすい事業のため、基本的な感染予防策を徹底し、通所機能が維持できるよう努めます。

【短期入所】

新規利用者の受け入れを積極的に行ったことで、利用登録者数が増加しています。また、単発利用から定期利用になった方もえてきたことで実績が安定してきました。しかし、現在はコロナウィルスの影響により、利用を自粛する方が多くなっています。今後は、外部からの受け入れだけでなく、グループ内の施設や、当施設の別のサービスを利用している方に対して重点的に利用調整を行い、感染リスクと実績のバランスを図りながら運営していきます。

【日中一時預かり】

通所利用者に対して、併用して利用ができるサービスであることを継続して伝えたことで、定期利用者が増加し実績が安定してきました。今後も、新規の通所利用者に対して、サービスの概要説明を行い、併用利用を推進していき、実績向上に努めます。

令和元年度事業報告（施設名 サポートプラザつくば）

事業所名	予定数/実績	増加率
特定相談支援事業/障害児相談支援事業（計画）	189/191	101%
特定相談支援事業/障害児相談支援事業（モニタリング）	539/649	120%
一般相談支援事業（地域移行・地域定着）	0（実績）	—
つくば市障害支援区分認定調査（つくば市委託事業）	15（実績）	—

事業の概要

特定相談支援事業及び障害児相談支援事業につきましては、利用契約者及び各対応件数は年々増加しており、契約者数は平成31年度末で、217名となりました。実績増加理由としては、平成30年度障害福祉サービス等の報酬改定により、計画相談支援及び障害児相談支援について、さらなる質の向上のため、モニタリング頻度が増回されたことにより、1件当たりの対応件数が増えたことが大きな要因としてあります。それに対応するため、相談支援の知識・技術の向上を目的とした事業所内研修を強化し、様々な課題を抱える利用者の対応が出来る人材の育成を行ないました。

一般相談支援事業におきましては、1年以上の長期入院をしている精神障害者が対象となる退院前の短期的な支援です。実績にはつながりませんでしたが、近隣の精神科病院からの依頼で退院支援に携わる機会や、1年未満の精神科退院利用者支援についても、随時、対応に当たり、精神障害者への相談支援技術において、着実に力を持つことができました。

また、つくば市基幹相談支援センターにつきましては、今年度もつくば市より依頼があり、受託した事業となります。つくば市に住む障害のある方、そのご家族や関係機関などから様々な相談を状況に応じて、継続的に対応し、地域に貢献しております。

障害者支援において、相談支援の担う役割は、今後より一層大きくなると考えます。各職員がスキルアップし、多角的な視点で幅広く対応が出来る相談支援事業所を目指し、今後も各事業に取り組んで参ります。

令和元年度事業報告（施設名 六本木ヒルサイドホーム）

事業所名	定員	稼働率
共同生活援助（入居）	10	100%
短期入所（ショートステイ）	2	88.1%

事業の概要

・共同生活援助（入居）は、現在、満床で推移しております。令和2年1月からですが、新型コロナウィルス感染拡大防止に伴い施設利用を自粛し自宅へ外泊する利用者様が増え、不在な日々が生じております。家族の支援が可能か可能でないのか、状況を見極め利用者の利用受入を検討していきます。

・短期入所は、港区民の理解も得られ、年度を通して実稼働率も安定しておりましたが、新型コロナウィルスの影響もあり、年度末には利用者様本人、ご家族から自粛との申し入れがありキャンセルが増えました。現在は、緊急時以外は受入を見合わせております。また、短期入所利用者様のご家族がコロナ発症した際の利用者様本人の受入体制等マニュアルフローを港区と確認し速やかに対応できるようにしていきます。

・障害者福祉事業所の運営においては、利用者様の貴重品紛失や年度内に管理者2名の変更等がありました。港区との良好な関係性を築きあげてきた実績の為にも、施設の知名度や評価を下げる様、貴重品紛失に対して、利用者様御家族個々と面談を実施し、各利用者様一人ひとりと預り金管理委託契約書の締結を行いました。港区へは、速やかに各利用者全員分の契約書の写しを提出致しました。今後は、同じ問題を生じさず、利用者や地域・行政を含めた関係機関の信頼を損なわない様、密に連携を取り信頼向上に努められる運営をしていきます。

また、今後は、職員の異動を含め適した人員配置を実施し、人件費の削減とサービス体制を維持する為にも、職員の質の向上を図る上で、外部研修に積極的に職員全員の参加を促し業務に臨んでいきます。

令和元年度事業報告（施設名 永福南社会福祉ガーデン）

事業所名	定員	稼働率
特別養護老人ホーム	70名	95.3%
障害者支援施設（入所）	10名	97.8%
障害者支援施設（生活介護）	5名	87.4%

事業の概要

〈特別養護老人ホーム〉

今年度は職員の確保ができ、70床を開けることが出来ました。稼働も95.3%の実績でした。入院者や看取りの利用者がいるので、退所になった場合、空床の期間を短くするため、待機者もいる状況です。

ショートステイについては、職員の確保が出来ずに稼働することが出来ませんでした。今年度こそショートステイも稼働できるよう行ってまいります。

〈障害者支援施設 入所〉

入院者も少なく、稼働率も97.8%とほぼ満床を維持できました。今後も早めの受診、健康管理を行って参ります

〈障害者支援施設 通所〉

今年度11月より、定員を5名に変更しております。稼働率は87.4%でした。来年度重症心身障害者通所事業の加算を取得して参ります

令和元年度事業報告（施設名 港区立障害者支援ホーム南麻布）

事業所名	定員	稼働率
生活介護	40名	5.8%
施設入所支援	40名	5.8%
短期入所	4名	0%

事業の概要

重度重複（身体、知的等）の障害者への日中支援と夜間・休日の生活を一体的に提供する施設として令和2年3月1日に新規開設しています。利用定員は40名（通所なし）、短期入所4名であり、令和元年度末で18名が入所しています。当初予定していた入所スケジュールに対して計画を達成できていない状況となっています。原因としては、新型コロナウイルス感染を懸念し、利用者家族が入所時期を遅らせるケースも多く発生していることや死亡や入院・手術などによる状況の変化により入所時期が遅れていることなどがあげられます。今後も社会情勢や状況の変化に迅速に対応し早い段階での満床を目指していきます。

短期入所に関しては入所が進んでいないことなどから受け入れが行えてないため、入所の稼働を見ながら受け入れを開始していきます。

令和元年度事業報告（施設名 南麻布シニアガーデン アリス）

事業所名	定員	稼働率
特別養護老人ホーム南麻布シニアガーデンアリス	100	19.1%

事業の概要

令和2年3月1日開設致しました。（入所のみ。ショートステイは5月から稼働予定）

3月にユニット24名・多床室10名計34名の入居計画を立て、ユニットは予定の24名全員が入居されましたが、多床室においては、後見人選定の問題及び健康診断受診対応の遅れ（高齢世帯で病院に連れていけない）、入居予定者の家族と連絡が取れない等の問題があり5名の入居に留まりました（結果3月末日時点で入居者29名）。

相談員・ケアマネージャーのインテークスキルにはらつきがあるため、入居遅延に対しての課題分析と解決策の共有を図りスムーズな入居受けを実践して参ります。

また現状、10ユニット中5ユニット開設分の人員の獲得に留まっており、安定的な介護人材の供給ルートを確保する必要があります。次年度においては各種専門学校、職業訓練校、ハローワークへ訪問によるリクルーティングを実施し、これらとの関係強化による採用効率アップを図って参ります。また、障害者支援ホーム南麻布、永福南社会福祉ガーデンと合同で企業説明会へ出展するなどし、東京事業所として採用活動の効率化ができればと考えております。

次年度重点取り組み項目として①介護職員の採用と育成②インテークから入居までの時間短縮③入居者の生活の質の向上④各種加算の早期算定⑤コンプライアンス遵守⑥黒字化に向けた収支管理に取り組んで参ります。

令和2年度事業報告（施設名：港区立障害者支援ホーム南麻布/相談支援）

事業所名	目標 / 実績	稼働率
計画 (特定相談支援・障害児相談支援)	81 / 77	95%
モニタリング (特定相談支援・障害児相談支援)	113/184	163%

事業の概要

【運営概要】

令和2年3月に開所し、約1年が経過いたしました。港区在住の障害児者に対し、障害福祉サービス利用に伴う計画作成や相談対応等実施しております。

令和2年度末時点で、97名の契約者を相談支援専門員2名で対応しております。毎月、様々な新規相談があり、今後も継続する見込みです。

【課題】

当初、開所直後より他事業所からの引継ぎや新規サービス利用相談等進めていく予定でしたが、コロナウィルスの影響等により上期については予定していた新規受け入れが進まず、また非対面での面談が基本となったことで地域のサービス提供事業所との連携体制等課題となりました。下期より相談支援専門員2名体制となったことや感染症の状況に応じた支援方法を随時検討・取り入れることで新規相談が徐々に増加しております。

しかし、当初4名体制での目標設定としていたことや感染症の状況等あり、実績につきましては目標に至らず終了しました。次年度に向け、事業所体制整備や感染症等地域の状況に応じた支援体制整備等の課題に対し取り組んで参ります。

【課題解決のための対策】

令和3年度障害者総合支援法改訂において、障害のある方が地域での生活をより選択しやすい支援整備をされました。その中で、その生活を組み立て支援する相談支援につきましては、地域状況の把握や状況に応じた相談支援体制整備等の役割が求められております。そのため、よりきめ細やかな支援が出来る職員体制整備や各相談員のスキルアップに取り組むとともに、感染症を含む様々な社会的な課題の中での状況に応じた支援方法整備等へ取り組んで参ります。また、障害特性や年齢等に偏りのない支援が提供できるよう、新規利用者受け入れの調整を行い、様々なケースの対応が出来る相談支援専門員の育成に努めます。